



お待ちしております♪

すずらんスマイルプロジェクトチームからのご報告

# すずらん通信

Vol.3  
2023.1.25

「すずらんスマイルプロジェクト」は、生きづらさを感じる10代・20代を中心とした若い女性を支援するために生まれた市内組織横断プロジェクトです。

高階副区長や女性管理職を含めた約50名のメンバーが「人材育成チーム」、「情報発信チーム」、「連携促進チーム」、「調査チーム」の4つのチームに分かれて活動しています。今回は「連携促進チーム」の活動やメンバーについて、ご紹介します！

## 連携促進チームってどんなチーム？

連携促進チームはその中でもさらに、「カード&居場所事業&90周年グループ」、「意見交換会・視察ツアーグループ」、「大学連携グループ」の3つのグループに分かれて活動しています。今回はグループごとに記事を作成していますので、ぜひ最後までお読みください。

## カード&居場所事業&90周年グループ

### 新たな若者の居場所創出

テーマは「参加型」！企画や業者へのヒアリング、選定までメンバーが中心となって活動し、11月より2拠点がスタートしました！

#### 居場所① cleanup&coffee club



池袋



最新情報や活動の様子は  
[すずらんHP](#)や、  
公式インスタをチェック☆

区内4ヶ所の拠点を中心として多世代多種多様な地域の人が集まり、周辺をゴミ拾いしたあと、交流する活動です。ご近所さんと何気ない会話をしながら街をきれいにし、一仕事終わった後はみんなでコーヒーを飲みながらお話するだけで、とても心がほぐれます。予約は不要。マグカップを持って集まるだけで参加できます♬

#### 居場所② ものづくり交流スペース『だちゃカフェ』

公認心理士など、「心の専門家」を中心に構成された「NPO 法人だーちゃらぼ」による居場所『だちゃカフェ』では、飲み物やお菓子片手にのんびりできる他、区内の他団体と協働してアルバム作りやヨガ体験など、毎回創作や体験ができるワークショップを開催しています♪



詳細や最新情報は[すずらんHP](#)  
『だちゃカフェ』ページを要チェック★



### 豊島区制90周年

豊島区制90周年記念式典に、たくさんのすずらんスマイルプロジェクトメンバーが参加し、プロジェクトのPRを行いました！

#### みんなでPR『すずらんを知ってください』

当事者だけでなく、すずらんを多くの人に知ってもらえれば、その人たちがいつか伝え手となってくれる。すずらんから繋がる人の輪が、つまり若い女性たちをひとりでも多く、希望のある未来へと導けるよう心を込めてPRしました。



### すずらんカード

すずらんスマイルプロジェクトでは、すずらんを知ってもらうためのカードを作成し、協力施設に設置、配布しております。設置、配布にご協力いただける場所やイベントを募集中です！！



## 意見交換会・視察ツアーグループ

### 若年女性に関するアンケートを実施しました

若年女性の実態を知るため 10 月にアンケート調査を実施し、若年女性を支援する民間5団体(サンカクシャ・だーちゃらぼ・ピッコラーレ・ワーカーズコープ・わたカフェ)にご協力いただきました。

すずらん自体は5団体とも知っており、少しずつ取組について周知ができていますと実感できました。一方で、複合的な課題をこの窓口につないでよいかわからないとも答えており、区役所への支援のつなぎ方について、課題が浮き彫りになりました。

アンケートでは、すずらん活動のキーワードの1つである「居場所」についても聞いてみました。相談に来ている方は普段、こんな場所で活動しているそうです。

- ・ 何気なくふらっと立ち寄り、時間の制約がない場所
- ・ 夜を過ごせる場所
- ・ ネットゲームなどの仮想世界

他にも、興味深いアンケート結果が出ております。詳細はすずらんワークスペース上([こちら](#))に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

### サンカクキチ見学会

すずらんでも大変お世話になっている NPO 法人サンカクシャさんの新しい拠点サンカクキチ(板橋駅近く)に、10/13(木)すずらんメンバー6 名が利用者さんのいる夕方と夜、2 部制で見学・情報交換に伺いました。

IKEA 提供の家具でとてもおしゃれで居心地のよいお部屋や e スポーツ対応の PC 部屋などがあります。情報交換では、利用者さんの中にはリストカットや妊娠したかもという話が出て、医療や関連機関と連携しながら対応している/シェアハウスのニーズが高く満室状態が続いている/男性は Twitter からつながり、女性は区の機関の紹介で利用につながる傾向/Twitter の DM をきっかけにつながったり、ゲーム内でのチャットを通じて相談に至ったり、若者に届きやすい方法を工夫しているなど、サンカクキチの実態を詳しくお伺いできました。

実際に訪問して“若者の居場所”を見たり実践をうかがうのはメンバーにとってとても学びの多い機会となりました。サンカクシャさんありがとうございました！

※背景の写真はどちらもサンカクキチ

## 大学連携グループ

### 学生相談室へ、インタビュー



### “学生にとって区役所って？” “行政に求めることは？”

生きづらさを抱える若年女性のために発足したすずらんスマイルプロジェクトですが、実際に当事者と関わる機会はありません。今回、大学連携チームでは、普段から実際に相談を受けている方にお話を聞くべく、3つ大学の学生相談室へ訪問しました。

※個人情報保護の観点から大学名は控えさせていただきます。

Q 相談室に来る学生はどんな悩みを抱えていますか？

A 大学 コロナ禍で、家族と同じ空間にいる時間が増えたことによる、家族関係の悩みが多いです。

C 大学 経済状況、バイト先のトラブル(労働環境)、転学の相談、SNS 上の人間関係など、様々です。

Q 行政(区役所)にはどのようなイメージを持っていますか？

A 大学 そもそも行政に相談できる場所があることを知らない学生が多いです。ニーズはあると思います。

B 大学 役所は親世代が行くものであり、自分が行くところではないと思っている学生が多いと思います。

Q 行政に求めることは何ですか？

B 大学 学校と家以外の居場所があるといいと思います。何かあったときに行ける場所、話せる人がいる場所の必要性を感じます。

C 大学 学外でサークルのような活動ができる場所があるといいと思います。

インタビューを終えて…

今回、学生相談室へのインタビューを通して、学生にとって行政へ相談することへのハードルが高いことと、“居場所”の必要性を改めて認識することができました。今後も現場の声に耳を傾けながら、すずらんの活動を続けていきたいと思っています。

発行 すずらんスマイルプロジェクト 情報発信チーム

大矢(企画課)・近野(庶務課)・田中(区民活動推進課)・赤坂(介護保健課)・高橋(健康推進課)・澤本(東部子ども家庭センター)

次回の配信もお楽しみに！